

2016年8月号

J-SHINE 通信



向井ゆかりさん

今回は幼児や小中学生の英語指導の経験を経て、お子様の小学校入学をきっかけに英語ボランティアを始められ、近隣の市町村のホームページなどの情報を得て、現在はスクールアシスタントとして有償で英語指導をされて7年目となる向井ゆかりさんの実践報告です。

J-SHINE 小学校英語上級指導者。子どもの小学校入学を機に、その小学校に声を掛け、1.2年生の英語ボランティアを開始。市の講座「土曜クラブ」に参加し、小学生向けボランティア英会話教室を開始。現在は愛知県東三河地区の小学校にてスクールアシスタントを始めて7年目となる。

■ J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

JTEとしての小学校への関わりは、自分の子どもの入学が機です。その小学校が隔年でオーストラリアの生徒の受け入れとオーストラリアへの児童の派遣という交流をしていたので、オーストラリアの生徒が来たときに低学年の児童も彼らと会話ができたら楽しいのではないかと考え、小学校へ電話をし、その後学校を訪問して、「朝の15分を英語活動に使いませんか」という声掛けをしました。無償で週1回程度、1、2年生の低学年クラスを訪れるようになったのが始まりです。

自分の子どもが嫌な思いをするかとも思いましたが、子どもも了解してくれ、月単位で翌月の予定（お互いの都合の合う日程）を立てながらの、まさに学校側も私も手探りのはじめての挑戦でした。

その当時は何の資格も持っていなかったので、「先生ですか?」、「何のお仕事をされているのですか?」などの質問に対して、何か資格のようなものがあれば、学校も保護者も安心するのかな、と考え、J-SHINE 資格の習得を決心しました。

■ 現在の活動状況

現在は隣接する市のスクールアシスタントとして、小学3、4年生の英語をTTで年間1クラス20回有償にて働いています。

インターネットで近隣の市町村のホームページや広報を見て応募をしたのが始まりです。授業は担任の先生をサポートするという立場ですが、小学校には英語の指導にはあまり自信のない先生や、場を取り仕切って自らも英語を話してくださる先生など、いろいろな先生方がいらっしゃいます。

先生方はご自身の授業以外にもいろいろな仕事を抱えていらして、いつも忙しく動かれているので、わからないこと、困ったことなどはこちらから声を掛けるようにしています。子どもたちはいろいろな個性が溢れているので、一筋縄で行かない子どもももちろんいますが、多くの子どもたちが一緒になって授業を楽しんでくれます。担任の先生とは時間が取れる範囲で、授業後、授業前にレッスンプランについて話し合います。

今年度より市の教育委員会が中心となり、小学3年生から中学3年生まで一貫した英会話レッスンプランが作成されました。そのプランを元に授業を行なっています。クラスの雰囲気や学習習得状況など、担任の先生でなければわからない事などを教えていただきながら、そのレッスンプランをクラスにあわせてアレンジしていきます。

TTの良さは子どもにかけられる時間が倍になることです。人数の少ないクラスであれば先生が直に児童一人一人と会話をすることが出来ます。また、どちらかが指導している時にもう一人が児童を見たり、児童役としてゲームに参加することも出来ます。単語の導入や会話など英語に関する事は私が、クラスの雰囲気作りやクラスをまとめること、そして授業やゲームの進行は担任の先生が行います。担任の先生に舵をとっていただくことで、クラスをスムーズに動かすことができます。

やりがいはもちろん子どもたちが楽しんでいるのを見ることです。そして、その時に歌った英語の歌を授業後に歌っていたり、次に会った時に口ずさんでいたりするのを見ると「やった!」と嬉しくなります。英語が話せた! 英語が使えた! という自信が子どもたちに見受けられた時はとても嬉しいです。

■ 今後の展望・課題・目標

単発で「ブチッ」と切れてしまうのではなく、小学校から中学へ、中学から高校へとつながっていく英語教育が理想だと感じます。子どもの知りたい、やってみたいという気持ちを刺激できるような、興味を引く英語教育をずっと連続してできるようになったらとても良いと感じています。そのためにも子どもたちが初めて触れる英語は「楽しい!」という思いを存分に感じてもらえるものにしたいです。

自分がどれだけ動かか、関わるかで英語教育に携わる機会が段階に変わってきます。一步踏み出そうかどうしようか迷っている方がもしもいらっしゃるのなら、とりあえずやってみたらどうでしょうか。きっとご自身の近くに既に動き始めている方々がいらっしゃるはずです。まずはその方々と情報交換してみるのも良いかもしれません。地元のホームページなどはなかなか侮れませんよ。